

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問 児童発達支援 放課後等デイサービスCrew		
○保護者評価実施期間	2024年 2月 15日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2024年 2月 15日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが安心感を感じながら、楽しく通所できている。	スケジュールを視覚的にわかるようにし、日々の療育活動に積極的に取り組めるようにしています。	子供たちを主体として積極的にやりたいことを調査し、療育へ生かしています。
2	子供たちの個性にあった支援方法を模索・検討し支援にあたっている。 今後もより一層の支援を提供していく。	子供たちの現状を、しっかり観察し、支援内容にフィードバックするようにしています。	子供たちの最善とは何かを考えながら、よりよい支援が行えるように環境整備を行いながら支援を行ってまいります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や家族が参加できるイベントが少ない。	保護やが参加できるイベント等が少ないことが要因の一つと考えられる。	事業所として参観日などを設けて保護者との交流を増やす。
2	事故・災害等の緊急時マニュアルは整っているが、実際に災害等が起こった時にスムーズに対応できるよう全体で訓練を行う必要がある。	マニュアル等は情報が多いためスムーズではない可能性がある。	マニュアルを簡略化したフローチャートの作成を行い、頻繁に訓練を行う。
3			